

災害伝承の取組事例(H27年度) 廿日市市での取組事例

概要

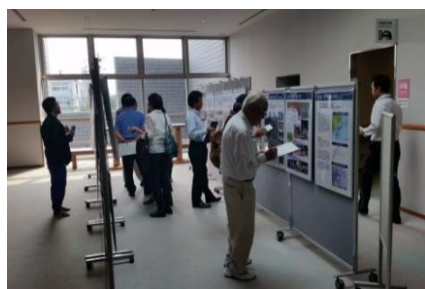
取組内容	開催日時	開催場所
講演会	9月3日	廿日市文化ホールさくらぴあ
	9月9日	宮島成風館
土砂災害伝承パネル展	9月1～4日	フジグランナタリー
	9月10～17日	ゆめタウン廿日市
	9月	廿日市市役所, 大野市民センター他
砂防出前講座	10月	廿日市市宮島学園 他

平成27年度は枕崎台風から70周年, 平成17年台風14号災害から10周年という節目の年を迎えるにあたり, 廿日市市, 地域, 企業及び学校関係者の方々と連携し, 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として, 災害伝承に関する取組を実施した。

防災講演会



8.20土砂災害を受けての取組 (講演会)



土砂災害伝承パネル展

土砂災害伝承パネル展



ゆめタウン廿日市



フジグランナタリー



降雨体験機によるイベント

地域の災害伝承の取組



地域の方が当時の被災経験を語る体験談



地域主催の伝承パネル展

災害伝承パネル展アンケートのご意見

- パネル展を見て, 情報が詳しく, テレビよりよく理解できた。防災への知識や訓練の必要性をととも感じた。次世代に引き継いでいくことが重要な事だと感じた。
- 災害直後やメディアで取り上げられているときには, 関心が高まるが, 時間が絶つと関心が薄れていくので継続的な活動が必要であると思う。
- 災害は, 次世代までしっかり引き継ぐことが重要であり, このような地道な活動であるが頑張って取組を続けることに意義があると思います。
- 生々しい写真を見て自宅でも備えがしていると感じた。とてもわかりやすくまとめられていて土砂災害防止の大切さを学べてよかった。このようなイベントを各地でして頂けるとありがたい。